

昭和47年、路面清掃事業からスタートした富山環境整備は、令和4年10月に創業50周年を迎えました。



# WASTE AS A RESOURCE

これからも地域とともに  
100年先の未来のために

限りない空と緑の風——  
のどかな田園風景が残る富山市婦中町。  
東に立山連峰を臨むこの中山間地域に  
創業者の松浦壽一は最初の処分場を開設しました。

愛する家族や仲間が暮らすこのまちのために  
私たちにいったい何ができるのか。  
廃棄物を扱うからこそ見えてくる社会課題の  
解決のための糸口はどこにあるのか。  
創業から50年は廃棄物の可能性を探り続けた日々でした。

大量生産・大量消費の時代から  
持続可能な社会を目指す時代へ。  
その中で、私たちはリサイクル技術の研究開発  
廃棄物由来の熱エネルギーを活用した発電  
それを利用した次世代型農業へと事業領域を広げています。

「地域とともに発展する会社で在り続ける」  
先達の教えを大切に受け継ぎ  
富山環境整備はこれからも  
皆様と手を携えて歩み続けます。



地域のエネルギーを担う  
その日まで。

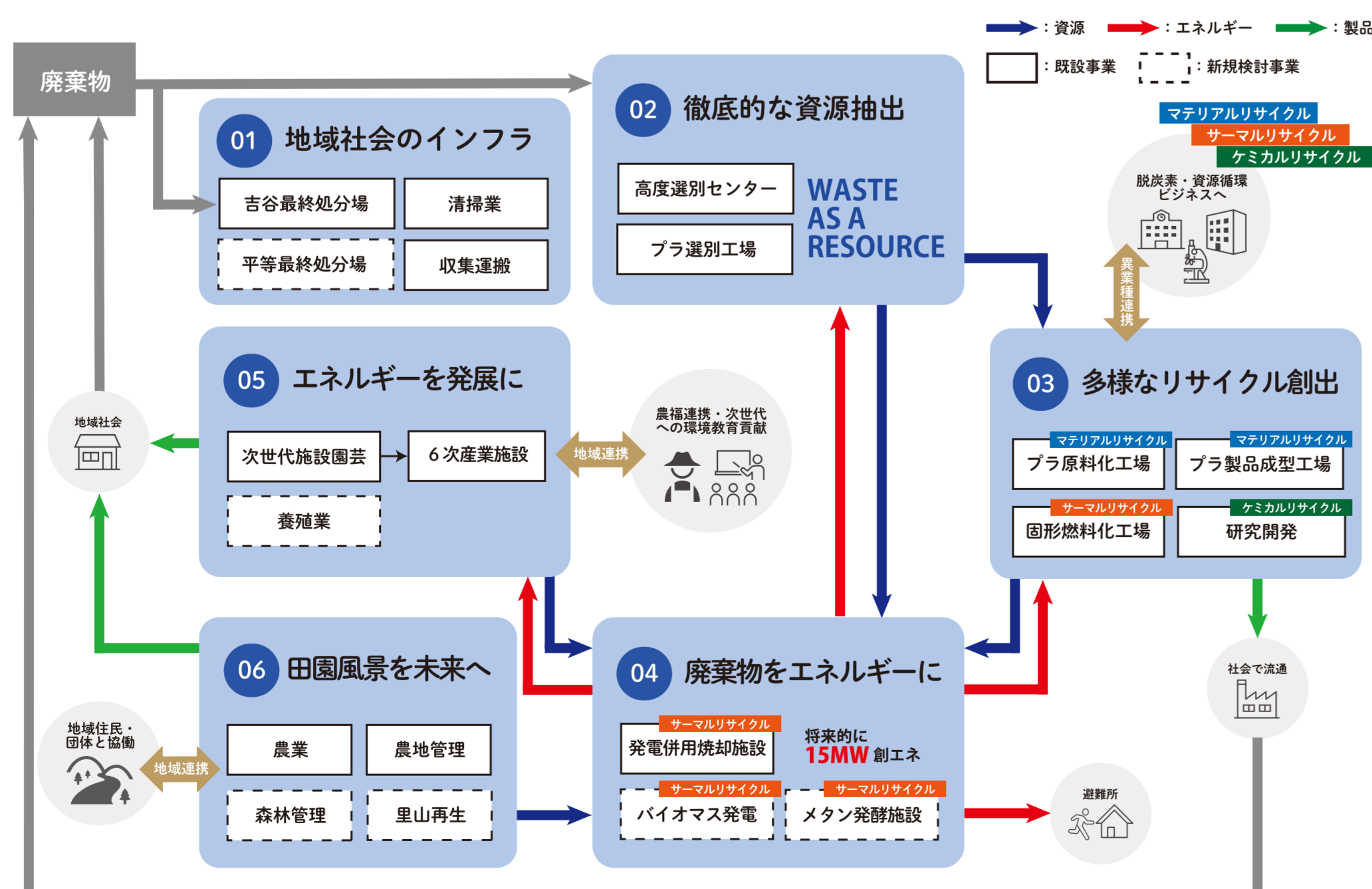


再誕。



すべてはめぐり  
めぐる。

## 廃棄物処理を軸とした 地域循環共生圏モデル構想



この構想は廃棄物処理、リサイクル、発電、農業、森林・農地管理といった複数の事業が地域の中で関連し、循環することで富山環境整備が地域と一体となって継続的に発展していく持続可能な未来像です。  
私たちはこれからも経験と信頼の実績を重ね、廃棄物が資源となる真の循環と社会課題の解決に挑み続けます。



廃棄物は資源。  
最後のひとかけらまで  
資源として活用する循環型社会へ。